

令和2年度 串間市立本城小学校 学校関係者評価書

※ 評価・・・大変良い 4点 良い 3点 もう少し 2点 改善を要する 1点

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1)基礎・基本の確実な定着	<p>① 個に応じた指導の充実</p> <p>② 「諸学力調査の平均点」市平均以上</p>	<p>① 3～6年生において国、社、算、理の学年別授業の実施及び特別支援員による特に支援が必要な児童への個別支援等行ってきたが、個人差が大きく十分行き届かない面もあった。完全複式指導での個への支援の在り方について本年度中に検討していく。</p> <p>② 市平均と比較する材料が本年度はなかったため、一概には言えないが、おおむね良好な結果を残すことができた。ただ、学年間の学力の差が見られるため、今後、学年末の復習等で定着を図っていく必要がある。(別紙「諸学力調査等の結果」参照)</p>	3	3	<p>① 複式指導は難しい面があると思います。段階を踏んで対応してください。</p> <p>① 複式指導は、従来の指導法とは異なる面が大きく先生方のご苦勞を察しますが、少人数がゆえの充実した指導が得られると思われる。充実した指導方法の確立をお願いしたい。</p> <p>① 少子化に伴う教育施設減少下において、地域の教育環境維持に向けて努力をお願いします。</p> <p>① 複式指導は本当に大変だろうと思います。少人数であればなおさら個人差が目立ち、指導に工夫が要るかとは思いますが、ぜひよい指導法を確立してください。</p> <p>① 授業中ていねいでわかりやすいと児童が感じていることはすばらしい。</p> <p>① 個人差が大きいのはやむを得ないが、置き去りにしない方策に留意しているのは評価できます。</p> <p>② 単元テストの結果はすばらしいと思います。算数はもう少し努力が必要と感じました。</p> <p>② 学力調査（高学年）特に6年生の各科目での減少が気になります。</p> <p>② 目的の基準となる市平均データが得られないのは残念です。目標設定の検討が必要ではないでしょうか。全国学力テストにおける6年生の国語、算数については全国平均を上回り喜ばしい。</p> <p>② 市平均点と全国との比較では材料不足で結果に反映できていないのは残念ですが、日頃の対応が概ね良好との自己評価につながったのでしょうか。ただ、職員評価は2も3人います。また、未記入がやはり3名ですが、概ね良好との評価とどうつながるのでしょうか。</p> <p>② 諸学力調査等の平均点については、小規模学校では一人の点数によって大きく平均点が変わってくるので、難しいところであるが、あまりこだわりすぎることもよくないのではないかと思います。</p>

	<p>③ 毎月、1.5 冊以上の読書</p>	<p>③ 読書については月平均1.5冊の読書の目標に対して月平均3.7冊と大きく上回ることができた。本年度は、読み聞かせや移動図書館の活用、リレー家読（家庭での親子読書）など読書の推進に取り組んだ。また、学年ごとに読書の時間（年間 20～60 時間）を位置付け、実施している。今後は家庭で児童が進んで読書をするように手立てを講じていく必要がある。</p>			<p>③読書目標が大きく上回ることができたことはとてもいいことで、必ず学力の向上に反映されることでしょう。</p> <p>③ 読書に関して、保護者のアンケートではひどく低い数値でした。家では読書しないというものは何が原因でしょうか。ゲームやメディアへの依存があるということでしょうか。保護者の取り組みにもさらに協力をお願いしたいです。</p> <p>③ 読書については評価が高いが、アンケートの保護者の意識の39%は気になります。</p> <p>③ 読書については、児童と保護者の間に温度差がありますが、保護者の積極的な参加が足りないのではないのでしょうか。</p> <p>③ 読書は根気強く学校でも続けて頂きたい。</p> <p>③ 読書に関しては目標クリアは喜ばしいことです。保護者アンケートにみられるように、家での読書への親しみが薄いようです。遊び盛りの年代で難しいでしょうが、根気強い推進を願います。</p> <p>③ 読書については大きく上回っており、いいことだと思います。</p> <p>③ 昨年、読書について指摘させていただきましたが予想以上に改善され安堵しました。人が物事を考える基本は言語なので、この言語を獲得するためには読書は欠かせません。読書の取り組みは、各教室においてもテーマに沿った本が選定して陳列されているなど工夫が凝らされていてよかったと思います。</p> <p>③ 「何冊読む」指標の設定が功を奏したのでしょうか、目標を大きく上回ったのは素晴らしいが、家庭で読書していないとのC評価とはどう整合性があるのでしょうか。</p> <p>④ 評価委員としては実態が見えづらい内容ですが、保護者のアンケートはBが多く、それなりに評価されていることは良い。保護者にも見えにくいテーマだったようで、わからないが9人もいる。</p>
	<p>④ 小中高一貫教育の推進</p>	<p>④ 一貫教育各種研究会への積極的な参加及び小中高ウォークラリー、中学校入学説明会、中学校授業参観等、昨年同様推進を図ることができた</p>			<p>① ていねいに児童たちと向き合っている空気感は受け止めました。</p> <p>① 先生方の努力に感謝します。今後ともより良い教育基盤づくりをお願いします。</p> <p>① 子どもたちの学ぶことへの集中力の高さ、千野棒おどりの練習の時に改めて感じました。6年生は前年度の練習をバッチリ覚えていて、指導する方が助かりましたし、また感心もしました。この集中力、ぜひ他の場面でも生かしてほしいと思います。</p> <p>① 具体的手立ての「主体的・対話的」というテーマが少しわかりづかったのではないかと。それでも、先生たちの授業力が研究授業や参観者感想で啓発されており教職員評価も4が4名おり、自己満足度も高く、今後も一層の向上につなげてほしい。</p>
	<p>① 「主体的・対話的で深い学び」の推進（全職員の研究授業）</p>	<p>①全職員の研究授業を実施し、参観後は参観者が感想を出し合い、授業者はそれを受けて授業改善に努めた。また、「主体的・対話的で深い学び」の追求のための校内職員研修、他校の授業の参観等を通して授業力向上に努めることができた。</p>			

	(2)学ぶ意欲の育成	<p>② 家庭学習の定着</p> <p>③ 表現力の育成</p>	<p>② おおむね家庭学習については定着してきているが、内容を工夫し、参観日や学級通信で啓発し、家庭の協力を得ながら一層の推進していく。</p> <p>③ 本年度の宮日掲載者は8名(1月15日現在)である。全校宿題としての週末作文や学級では日々の日記にも取り組ませている。しかし、文章表現自体を苦手としている児童も多いため、自信を持たせる作文や日記の指導の充実に努めていく。</p>	3	3	<p>② アンケート結果で、保護者・児童・先生の3者全てが家庭学習の定着を評価しています。すばらしいです。押し付けても無理な年代と思いますが、「好きこそ物の上手なれ」的指導ができればありがたいです。</p> <p>② 保護者・児童・教職員ともに宿題・宅習に肯定的評価ができています。</p> <p>③ 宮日新聞はもちこんのこと、学校通信などを通して、文章表現力向上の指導がうかがえます。文章に親しめる指導を維持継続してください。</p> <p>③ 串間中の立式で高校生4名が学習方法、目的、進路について話をしました。大変良かったです。小学校でも上級生を対象に本校出身の中学生に話をしてもらうのもいいかと思います。宮日はどんどん活用してください。</p> <p>③ 読書で獲得した思考力を具体化するにも、文章表現は大切です。この部分、ものすごく大切なので、ぜひよろしくお願いします。</p> <p>③ 宮日掲載は昨年度17回、本年度8回とすばらしい。いつも宮日の「若い目」欄で本城小学校の名前を探します。文章表現力向上に目を向け、作文や日記をその材料にすることは良い事ですが、教師の目から見るともう少しなのでしょう。</p> <p>③ 文章表現力は、文字のていねいさも含めて向上していると感じます。</p> <p>③ 一行日記で自信をもたせてはどうでしょう。</p> <p>③ 本城小学校の児童の作品を見ていると表現力は非常に優れていると思う。そういう面では、本城小は少人数ではあるが、児童一人一人丁寧に育て上げていると感じた。</p>
評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
		① いじめアンケートの実施と適切な対応	① 本年度より、毎月1回いじめに関するアンケートを実施している。また、6, 9, 2月には、全児童を対象に担任が教育相談を実施し、個々の児童の悩みについて把握するようにしている。現在のところ、児童や保護者からいじめに関する悩み・相談は寄せられていないが、どこでも発生することであるので、今後も注意を怠らないようにする必要がある。			<p>① アンケート結果から見ても、いじめは無いように思われます。児童との接触機会があり、素直な児童がほとんどと感じますが、感受性の違いから大人の思いと異なることが考えられます。月1回のアンケート調査は効果的と思われ、ぜひ継続願いたい。</p> <p>① いじめがないことはいいことです。</p> <p>① いじめについては継続して見守りを行っていただきたい。</p> <p>① 子どもたちの明るさを見ていても、いじめはないのだなと思い、安心しています。</p> <p>① すべてのアンケートで肯定的な回答でこのままでよいと思いますが、アンケートの工夫や頻度でさらに「芽」の察知を図ってほしい。</p>

2 心の育成	(1)望ましい人間関係の育成	<p>② 挨拶と言語環境の整備</p> <p>③ 道徳の授業の充実</p>	<p>② あいさつ、言葉遣いについては、保護者からももっと良くなってほしいという声がアンケートの回答からうかがえた。学校としては、日々の学校生活の中で、実態に即したその場での指導を徹底していく。また、学校と家庭が協力し合うことで向上して行くことであるので、参観日等で共通理解を図る。</p> <p>③ 参観日に道徳の授業を実施することにより、親子で道徳性について考える場となった。また、実践につながるように指導を工夫したりしたことで道徳が楽しいと感じる児童も多くなってきている。今後も積極的に道徳の授業を参観日に行っていく。</p>	3	3	<p>② アンケート結果で、保護者と児童で評価の差があるようです。その差はあいさつなのか言葉遣いなのかわかりませんが、とにかく学校と家庭の連携指導が効果的だと思います。なお、個人的には児童と登校時等に接触する機会が多々ありますが、あいさつは大きな声で受けています。</p> <p>② あいさつは元気にやってくれていると感じました。アンケートにある言葉遣いについては、直に触れる機会がなくてわかりません。</p> <p>② あいさつについては、私が車を運転していても見つけてくれ、登下校中にあいさつしてくれ、だいぶ良くなったと思います。かえって大人の方があいさつをしない場面が多く、子どもたちに学ばなければなりません。</p> <p>② 以前すごいあいさつ、あいさつチャンピオンなどの目標がありました。年を追うごとに評価が低下していました。保護者の74%は悪くないが、問題があるとすればあいさつなのか、言葉遣いなのか絞り込んで次につなげてほしい。</p> <p>② あいさつは家庭環境が大きく影響していると思うが徹底してほしい。</p> <p>② 子どものあいさつ、言葉遣いが良くないのは保護者にも問題があると思います。親がまず見本を示すべきです。</p> <p>③ 児童の意識が向上しているようです。ぜひ継続してください。</p> <p>③ 道徳の授業を参観日に親子一緒に行われることは大変良いことだと思います。</p> <p>③ 道徳の授業は大切だと思います。テレビやマンガなどでいじめにもつながっていくような荒っぽい言葉が横行しているのが気になります。</p> <p>③ 参観日での道徳の授業の取組はいいですね。</p> <p>③ この部分に関しては、保護者の方の乱れが気になります。</p> <p>③ 参観日に道徳授業は良い。保護者・教職員も100%と肯定的。「道徳とは何か」、難しい問題ですが、家庭で親子このテーマを語れる方策はないのでしょうか。アンケートに「家庭で道徳について話し合いましたか」という項目を設けてはいかがでしょうか。</p>
	(2)校内の美化や整理整頓	<p>① 無言清掃の徹底</p>	<p>① 無言掃除については「集中力の育成、口からの細菌等の侵入の防止」を目的として、取り組んでおり、掃除中に大きな声は聞かれない。しかし、小聲が聞かれることがあり、完全に無言掃除になっていない現状である。無言清掃について職員間で再確認するとともに、特に年度当初には清掃班会等を通して児童に徹底して指導ができるようにする。</p>	3	3	<p>① コロナ渦にあることで、さらに無言清掃の意義は大きいと思われます。継続していただきたい。</p> <p>① 本城小という訳ではないですが、マスクをしていれば人前でも咳をしても大丈夫という意識にならないよう、重ねて指導をお願いします。</p> <p>① 無言清掃は、無駄なおしゃべりでなければいいのではないのでしょうか。</p> <p>① 長時間の集中力は大人でもなかなか難しいものです。作業効率も併せて指導が必要ではないのでしょうか。</p> <p>① 無言清掃やトイレのスリッパ並べの徹底とか、しつけに関わる部分。本来は家庭教育で取り組むべきことですが、学校でもしなければならず申し訳なく思います。かなり効果は上がっているように思われます。</p>

		② トイレのスリッパ並べの徹底	② 重点指導事項として児童に学期ごとの始業式の際に生徒指導主事が指導を行った。現状として、大きくスリッパが乱れることはほとんどないが、向きがちがったり、片方だけ並べられていなかったりすることがあった。全体での指導には限界があるので、担任が、児童の実態に応じて各学級で繰り返し指導をしていく必要がある。			① 児童アンケートでは83%と高いが教職員は56%と低い。清掃班会に期待します。 ② これも教職員と児童の評価に乖離がある。長年に亘り解決できていないのはどの学校も同じでしょうか。 ② トイレのスリッパは意識して並べられるように指導してください。 ② 児童アンケートでは良好な結果となっています。整理意識の違いも考えられますので、具体的な整理方法の指導も必要ではないでしょうか ②トイレのスリッパも家庭の指導が大事です。家の玄関を見ればその家のようにわかると思います。
評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
3 体力の向上	(1)体力づくり	① 体力テストで県平均を上回る項目 60 項目以上 (96 項目中) <b>新型コロナウイルスのため本年度は未実施</b> ② 持久走強化週間・なわとび強化週間の実施	① 本年度は新型コロナウイルス感染拡大による休業のため体力テストが実施できなかったが。しかし、次年度の目標達成に向けて、2月に独自に体力テストを実施し、その結果を受けて授業の中で強化を図っていく。 ② 計画通り、持久強化週間(11月)、なわとび強化週間(1月～2月)を実施することができた。持久走大会(11月参観日実施)、なわとび発表会(2月実施)で練習の結果を発表した。体育の授業の中でも持久走、なわとびは計画的に実施している。カードを活用することで意欲付を図っている。	3	3	① コロナ渦での授業はなかなか充実できなかったと察します。体力は何を行ううにも大事な資本ですので、遊びを含め体力強化策を図ってください。 ② 持久走では、誰ひとりリタイアすることなく、泣きながらも最後まで走り抜いた姿には感動しました。 ② コロナ渦で外で遊べないなど大変な年でしたが、持久走、なわとび、運動会等、工夫して開催してもらい子どもたちも記憶に残ったと思います。 ② 今年は新型コロナウイルス感染症のため、運動会も半日の特別な形での実施になり、誠に残念でした。それでも、成果発表のためにベストを尽くした子どもたちに拍手を送りたいと思います。ご指導された先生方も、子どもたちのモチベーションを上げるため、本当にご苦労されたことと思います。

		<p>③ 虫歯治療率 80%以上</p>	<p>③ 虫歯がある児童7名のうち治療が終わっている児童は3名で治療率は43%で目標の80%には届かなかった。しかし、虫歯がなくても、積極的に受診した児童も5名おり、意識が高い家庭もあることがうかがえた。引き続き、参観日、学校保健委員会、保健だより等を通して治療の啓発を行っていく。</p>			<p>③ 虫歯はあらゆる病気にかかわっていると言われていたので、危機感をもって早めに治療してほしいです。          ③ 虫歯治療は保護者の責任です。保護者への強い啓発を望みます。          ③ 虫歯治療は家庭への呼びかけしかできないと思うので啓発を続けてほしい。          ③ 虫歯治療はもちろんですが、併せて歯磨き等の虫歯予防推進が必要ではないでしょうか。          ③ 虫歯の治療はコロナの関係で受け入れが難しいと聞いています。          ③ 虫歯の治療をしないとどうなるかを教える必要があると思います。          ③ 「虫歯の治療は必ずする」という考え方、ぜひ子どもたちにもってほしいと思います。虫歯を放置しておくと、年老いて必ず後悔します。</p>
	<p>(2)食育の充実</p>	<p>① 早寝・早起き・朝ごはんの推進 (児童の意識調査80%以上)</p> <p>② お弁当の日の実施 (調理関わり率80%以上)</p>	<p>① 毎学期ごとに「生活リズム週間」を設定し、各家庭で起床時刻、就寝時刻のチェックをし、実態把握と学校での指導に反映させるようにした。特に就寝時刻(目標 低学年9時 中学年9時半 高学年10時)については、多くの児童がほぼ守っているという結果であった。また、朝食の摂取率は調査をした5, 9, 1月の3回の平均が94%で毎回2, 3名の児童が朝食を摂取しない実態が見られたが、全体としては目標を達成することができた。引き続き実態把握を通して啓発、指導を行い、意識の向上に努める。</p> <p>② 本年度は1学期(遠足中止)実施できなかったが2学期は遠足に合わせてお弁当作りに取り組みせることができた。3月の遠足でも取り組ませる予定である。児童の関わり率は2学期が92%で、目標を達成することができた。また、食に関する指導を全学年、申間中の栄養教諭を講師として招いて実施し、意識の向上に努めた。次年度も、引き続き取り組む予定である。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>① 早寝・早起き・朝ごはんは、どれをとっても人には大切なことで、特に子どもに時期にしっかり身に付けさせたい習慣です。さらなる啓発を期待します。          ① 朝食は1日の活力の源です。まずは保護者の努力が必要です。          ① 目標達成は立派です。ただ、朝食は体力の源、摂取率100%になるように保護者の協力・理解が肝要と思われます。          ① 「早寝・早起き・朝ごはん」を守っているとのアンケート、昨年度は70%の回答でしたが、今年度は87%の回答で、ずいぶん改善されたように思います。引き続き高水準を維持できるようご指導ください。          ① 今、世界の中で最も衣食住に憂いがないのは日本です。その中で朝食を摂れない(摂らない)児童が数名いますがいつも同じ児童でしょうか。概ね達成できているのではないのでしょうか。</p> <p>② 参観日を利用して親子で弁当作りを実施するのもいいと思います。          ② お弁当の日は100%を達成できるといいと思います。それが「普通」となるようになってほしいです。          ② 食育は非常に大事だと思います。地域の特産品と結びつけた学習・・・例えばきゅうりちぎり体験後、きゅうりを使っての料理を作るとかができればいいと思います。</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
4 家庭・地域との連携	(1) 顔をつなぐ、声をつなぐ	<p>① 保護者との密な連携</p> <p>② 授業等における外部人材の活用</p> <p>③ 地域への貢献活動の充実</p>	<p>① コロナ渦の中ではあったが、5月の参観日に合わせて希望者を対象として2者面談を実施した。休業が続いた中であったが、保護者の要望、不安等について共通認識を図ることができた。また、学級通信や電話連絡を活用して連絡を積極的に行うことで、保護者との連携を図ることができた。</p> <p>② 本年度はコロナ渦の中、制約も多かったが、下記の事項で外部人材の活用を図ることができた。(本城干潟観察 きゅうりちぎり 水泳指導 食育指導 ものづくり体験 避難訓練 S D G s 授業 SOS 発信 千野棒踊り 本城くるみ太鼓 等) 来年度も積極的に外部人材(地域人材)の活用を図っていききたい。</p> <p>③ 行事の中止、縮小等で十分な貢献活動ができなかった1年であった。しかし、本城干潟観察、千野棒踊り、本城くるみ太鼓等の活動を通して、地域の自然や伝統に触れさせることができた。また、お花見歩こう会(1~5年学年レクリエーション)へも学年単位でかかわることができた。</p>	3	4	<p>① 評価指標の「顔をつなぐ、声をつなぐ」はとても良いことだと思います。</p> <p>① 保護者とのコミュニケーションが取れているようですばらしい。また、学校通信で地域の人も情報を入手できています。</p> <p>① コロナ渦の中、特に保護者との連絡・連携が重要でした。保護者の評価も90%と高い。</p> <p>② 学校、保護者、地域、ともにつないでいきたいものです。コロナ感染終息後は運動会や持久走大会などで、がんばっている姿をもっと地域の人にも見てもらいたいです。</p> <p>② よく地域の人材活用がなされ、児童も地域のいろいろなことに関心をもっていると感じます。</p> <p>② コロナ渦ですが、積極的な外部人材活用が図られていて地域との連携が素晴らしいと思います。</p> <p>② 各種活動の実績が物語っています。</p> <p>学力の学年差があるということだが、地域で伝統芸能の伝承に子どもたちとかわっていても感じることもある。地域としても子どもたちの学力向上に少しでもかかわっていただけたらと思う。</p> <p>③ 地域の自然や伝統に触れて地域愛が深まると感じます。千野棒おどりを一緒に活動していますが児童は、まじめにまた、楽しく取り組んでおり、本当に素晴らしいです。</p> <p>③ コロナが終息すれば地域行事にどんどん参加してください。3年度から地域連携組織が立ち上げられます。地域とともに子どもを育てましょう。</p> <p>③ 子どもたちの地区行事への参加や地域のこと学ぶ姿勢は、市内の小学校でも一番進んでいるのではないかと思います。よく活動されていると思います。</p> <p>③ コロナ渦の中では致し方ないと思います。</p> <p>③ コロナ渦においても十分な活動ができていると感じます。引き続き継続していただきたい。</p> <p>③地域としては、地域の行事に児童がさらに参加できると、児童の実態がわかり、地域のもっといろいろな面で児童にかかわっていくことができると思う。</p> <p>③学校と地域がさらに交流や連携を図っていくと、地域としとても児童に声かけや指導がしやすくなるので推進をしてほしい。</p> <p>③地域にはいろいろな専門的な知識を持っている人もいるので、さらにどんどん</p>

	(2)各種通信、HP等での発信	<p>① 学校だよりや学級通信による情報提供</p> <p>② 学校HPの定期的な更新</p>	<p>① 学校便り(毎月下旬発行)は、支所や郵便局等への配付及び回覧板に挿入することで地域の方にも学校からの情報を発信することができた。学級通信については、少なくとも週末には発行することで学級での様子を保護者に伝えることができた。(多い学級は毎日発行) また、12月より「いこいの里」の温泉入り口の掲示板を借りて学校便りや児童の作品を掲示し学校を地域の方、来場者へ紹介することができた。(月ごとに作品の交換予定)</p> <p>② ホームページは定期的に更新することができた。アンケート結果より、ホームページをあまり見られていない保護者も3割ほどあったので、今後保護者に見ていただくように啓発を図っていくとともに、魅力的な内容にしていく。</p>	3	4	<p>活用して行ってほしいし、かかわっていききたいと思う。</p> <p>① いつも学校便りを届けていただき、ありがとうございます。児童の皆さんのいろいろな取組や得意なことが知ることができていいことです。いろいろな場所でも他の地域の方にも見ていただきたいですね。</p> <p>① 学校便りはいつも楽しく読んでいます。引き続き継続していただきたい。</p> <p>① すばらしい情報発信です。今後もぜひ継続をお願いします。</p> <p>① 学校通信や温泉施設を利用して学校情報を発信してください。</p> <p>① 学校通信等でどの子どもがどの地域から通っているかをお知らせするのもいいと思います。</p> <p>① 学校での子どもの様子など、ほとんどの地区の方はご存知ないと思います。評価委員をやってみて、子どもたちのがんばりを改めて知りました。それを地域の方にもわかりやすいように発信していくことは、地域で子どもを見守り育てていくことにつながっていくと思いますし、子どもたちにとっても励みになると思います。いこいの里での発表など、今後ともご活用ください。</p> <p>① いこいの里の掲示は良いアイデアです。</p> <p>② いつも拝見させていただいております。間断ない更新に敬意を表します。</p> <p>② ホームページの定期的な更新で新たな情報が得られています。ただし、インターネットを利用できない保護者もいるのではと思われるので、ほかの情報発信の手段も必要ではないでしょうか。</p>
--	-----------------	---	---	---	---	---

その他(意見、要望等)

- 学校関係者評価委員になって長いですが、最初は手探り状態であった。しかし、年度を重ねるごとに充実した会になってきていると感じている。
- 児童の評価、保護者の評価、教職員の自己評価が明確に示されていることで、次年度に向けての課題がはっきりして非常に良いと思う。
- 児童の評価、保護者の評価、教職員の自己評価、評価委員の評価を見ると、いずれも肯定的な評価が非常に増えてきている。
- 物事に方向性を与えて、それに対してどう努力するか、その結果どうだったのかがしっかりと形で見えてきているようになってきていると感じる。
- 評価については、具体的な手立てごとに評価した方が評価する側としては評価しやすい。評価指標ごとだと評価が難しい。
- 子ども110番の事について知らない児童がいるように思う。学校で再度知らせしてほしい。
- 不登校傾向児童への対応等、家庭で困っているところがあれば、評価委員会としても積極的にかかわっていききたい。